

7月7日恒例の『遺愛会』でした。

7月7日に1年に1度会うのは彦星と織り姫だけではありません。遺愛を定年退職された教職員の方々も1年に1度7月7日に『遺愛会』と称して集まって、お互いの無事と健康を確かめ合い、それぞれの近況、昔話、卒業生や今の遺愛の様子について花を咲かせています。会員は31名ですが、今年は16名が谷地頭の懐石『煌』（キラ）に集まりました。（卒業生のご両親が営んでいます。）

もう18回目ですから、第1回目から参加されている先生のなかには80才代半ばを越える先生もいます。でも1年に1度のこの会を本当に楽しみにしていらっしやいます。

私の方からは今の遺愛の様子をパワーポイントやビデオで報告させていただいています。入学状況、進路状況、部活の様子、特に吹奏楽局の躍進についてお話しすると、遺愛の発展している様子を我が事のように喜んで下さり、本当に嬉しく思いました。

同窓生についても話題が出て、アメリカの歌手マドンナのアルバムの曲を手がけた卒業生、テレビコメンターとして出演している卒業生、この4月に函館市議に卒業生が4名も当選したという話も出ていました。年々、歳は増えていきますが、いつも熱いまなざしで遺愛のことを見守って下さる先生方の存在はとても大きいと感じました。

2015年7月9日(木)

